



第113期 中間報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで

NGK **NTK** 日本特殊陶業株式会社
スパークプラグ ニューセラミックス

証券コード 5334

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当上半期（2012年4月1日から2012年9月30日まで）の連結業績を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。



取締役社長
社長執行役員

尾堂 真一

企業理念



スローガン

私たちは、相互信頼を深め、未来を見つめた新たな価値を提案し、世界の人々に貢献します。

1. 存在意義

最善の技術と蓄積した経験を活かし、世界の人々に新たな価値を提案します。

2. 経営姿勢

社員の個性と能力を活かす環境を整え、総力を結集して信頼に基づく経営を行います。

3. 行動指針

絶えず前進します！
何がベストなのかを常に考え、スピーディーに行動します。

■ 商 号	日本特殊陶業株式会社
■ 英 文 社 名	NGK SPARK PLUG CO., LTD.
■ 本 社 所 在 地	〒467-8525 愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
■ 設 立 年 月 日	1936年（昭和11年）10月26日
■ 資 本 金	478億69百万円
■ 発行可能株式総数	3億9,000万株
■ 発行済株式の総数	2億2,354万株
■ 従 業 員 数	5,856人（就業人員）
■ 役 員	
【 取 締 役 】	代表取締役 取締役会長 代表取締役 取締役副会長 代表取締役 取締役社長 社長執行役員 取 締 役 専務執行役員 取 締 役 専務執行役員 取 締 役 常務執行役員 取 締 役 常務執行役員 常勤監査役 常勤監査役 監 査 役 監 査 役 常務執行役員 常務執行役員 執 行 役 員 執 行 役 員 執 行 役 員 執 行 役 員 執 行 役 員 執 行 役 員 執 行 役 員 執 行 役 員
	加 藤 倫 朗 川 原 一 雄 尾 堂 真 一 大 島 崇 文 柴 垣 信 二 河 尻 章 吾 中 川 武 司 浅 井 正 美 多 島 容 久 佐 尾 重 健 増 田 健 一 鈴 木 淳 一 郎 小 磯 英 之 松 成 慶 一 飯 見 均 濱 田 隆 男 河 合 忠 男 大 川 哲 平 鈴 木 英 光 鈴 木 博 寿 中 西 尊
【 監 査 役 】	
【 執 行 役 員 】	

□当上半期の連結業績

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界は、欧州での新車販売の落ち込みが見られるものの、米国や中国を中心として世界的に需要は回復基調にあり、国内においても復興需要とエコカー補助制度の効果で新車販売が好調となりました。情報通信関連事業およびセラミック関連事業における半導体業界は、世界的にスマートフォンの販売は好調、またタブレット端末の市場が拡大しつつあり、世界経済が減速傾向の中、これらの電子部品の需要は堅調に推移しており、小型化、軽量化および低価格化競争が続いています。このような状況のもと、当社グループの当上半期の連結売上高は1,327億49百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益98億68百万円（前年同期比36.1%減）、経常利益93億36百万円（前年同期比31.0%減）となり、中間純利益は75億92百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

<自動車関連事業>

欧州での新車販売の不振や円高の影響を大きく受けましたが、北米や中国での出荷は堅調に推移しました。この結果、当上半期の連結売上高は1,054億22百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は143億33百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

<情報通信関連事業>

パソコンや携帯電話、民生機器用途の製品出荷が堅調に推移していますが、客先在庫調整や円高影響により売上高が伸び悩んでおり、新規引合を獲得すべく拡販活動に努めています。一方、収益については生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い、改善に努めています。この結果、当上半期の連結売上高は146億64百万円（前年同期比11.6%減）、営業損失は48億38百万円（前年同期は29億61百万円の営業損失）となりました。

<セラミック関連事業>

工作機械向けの製品出荷が中国や北米で堅調に推移する一方、欧州向けでは大きな落ち込みが見られます。また産業用機器向けの製品出荷も欧州での在庫調整で売上高が伸び悩んでいます。この結果、当上半期の連結売上高は107億52百万円（前年同期比9.9%減）、営業利益は3億87百万円（前年同期比57.0%減）となりました。

□配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における最重要施策の一つと認識し、安定的な配当の継続を基本としており、中間配当金といたしましては1株当たり11円とさせていただきます。期末配当につきましても、株主の皆様へ安定的な還元をすべく、普通配当金として1株当たり11円を予定しています。

□通期の見通し

年度後半につきましては、欧州のみならず米国や新興国における景気減速懸念や、引き続き厳しい円高局面が続くと予想され、先行き不透明な状況にあります。このように見通しが立て難い状況ではありますが、当期の業績見通しを、下期における為替レート1US\$=78円、1EURO=100円を前提に、売上高2,662億円（前期比6.5%減）、営業利益204億円（前期比16.7%減）、経常利益200億円（前期比15.8%減）、当期純利益151億円（前期比40.8%減）と予想いたします。

□今後の課題と当上半期の施策

今後の当社グループの課題としては、激変する世界経済を生き抜くためのガバナンスの強化、持続的成長を後押しする新事業の創出や、震災以降、対応が急務とされるBCP（事業継続計画）などが挙げられます。このような観点から、当上半期には、取締役の減員と合わせて執行役員制度を導入することで迅速な意思決定を可能にしました。また新事業の創出を目的とした新規事業推進本部の設置や、小牧工場（愛知県）への技術部門集約による研究開発の効率化を実施しました。

当社はこれからも、グローバル、スピード、フェア、この3つのキーワードのもと、持続的な成長を目指した取り組みを続けます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

取締役社長 社長執行役員 尾堂 真一

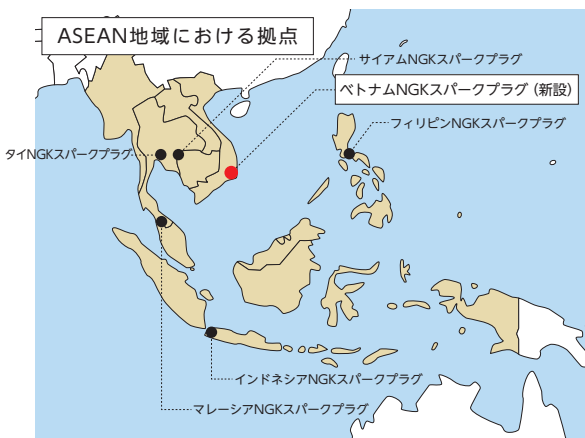
【トピックス】ベトナムに新会社設立

当社はこの度、ベトナムにおけるスパークプラグ、酸素センサの販売を目的に、『ベトナムNGKスパークプラグ(有)』を設立しました。

ベトナムは東南アジア諸国連合（ASEAN）の中でも高水準の成長を維持し、自動車産業も堅調な伸びを示しています。今後も二輪車・四輪車の増加が期待され、当社は主力製品であるスパークプラグ・酸素センサの需要も拡大していくと見込んでいます。

こうした状況から、ベトナムを重要な市場の一つと位置付け、顧客ニーズへの対応やサービス向上、販売強化のため、販売会社を設立することとしました。

今後もグローバルで一貫した販売戦略と圧倒的な品質・サービスにより、ベトナムにおいてもさらなるマーケットシェア拡大を目指し、トップブランドの地位を強固なものとしていきます。



■ 新会社の概要

- (1) 名称：ベトナムNGKスパークプラグ有限会社
NGK SPARK PLUGS (VIETNAM) CO., LTD.
- (2) 所在地：ベトナム ホーチミン市
- (3) 資本金：20万USドル
(タイNGKスパークプラグ株式会社100%出資)
- (4) 事業内容：ベトナム市場でのスパークプラグ、
酸素センサの販売
- (5) 営業開始：2012年9月

今回の特集は、いま世界の注目度が高いブラジルです。新たに設立したベトナムの新会社を含め、世界各地に製造・販売の拠点を設ける当社の海外進出の歴史は、53年前のブラジルに始まります。世界第4位の自動車販売市場に成長したブラジルと当社の関わりについて、加藤会長に語ってもらいました。

Q. 当社がブラジルにおけるNo.1スパークプラグメーカーに成長できた理由について教えてください。

A. **高品質な製品を供給し続けたことと、地道な営業活動の成果です。**

ブラジル経済の成長可能性を早くから有視していた当社は、1959年に進出を決定しました。当時の市場は大手3社が独占していましたが、他社から抜きん出た品質と細やかなサービスが認められ、徐々に各カーメーカーへの採用数を増やし、同時に補修品市場においても存在感を示しました。これといったお得意様のいない状況で納入実績を作ることができた背景には、日本と同等の品質で供給を可能にした一貫生産工場の存在が貢献しています。

また、結果的に大きく成長できた出来事として、60年代の不況が挙げられます。競合他社が撤退を余儀なくされた中、当社はそれまでに勝ち得ていた信頼、国内での市販力によって何とか耐えることができました。そして危機が去った後、さらに進展した工業化の流れに乗り、シェア拡大が実現できました。

Q. ブラジル特殊陶業の現状について教えてください。

A. **経済発展に貢献した企業として認められており、世界に誇れる工場に成長しました。**

現在、ブラジルではスパークプラグのトップシェアを誇り、No.1サプライヤーの座を確固たるものとしています。近年では、長年の経済への貢献が評価され、国家勲章をいただく機会に恵まれました。これも異文化理解に努め、高品質な製品を供給し続けた実績の賜物と考えています。事実、世界から見ても技術力の高い、洗練された工場になったと認識していますが、より一層の生産性向上を目指して日々改善に取り組んでいます。



取締役会長
加藤 倫朗



リオ・ブランコ勲章

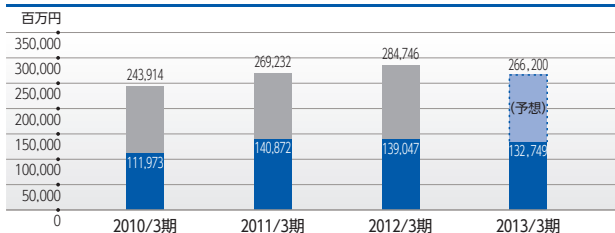
【加藤会長受章歴】

- | | | |
|-------|-----------|-------------------|
| 2005年 | ブラジル連邦共和国 | リオ・ブランコ勲章 オフィシャル位 |
| 2006年 | サンパウロ州 | バンデイランテス章 |
| 2007年 | サンパウロ州 | イピランガ勲章 |
| 2009年 | サンパウロ州 | 護憲革命記念勲章 |

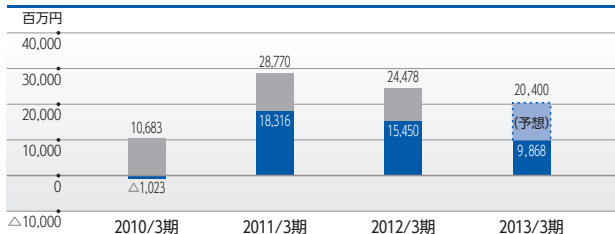
決算ハイライト

● 売上高

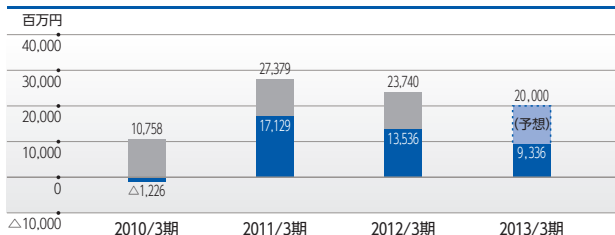
■ 中間 ■ 通期



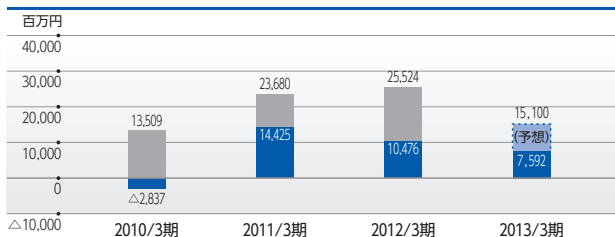
● 営業利益



● 経常利益

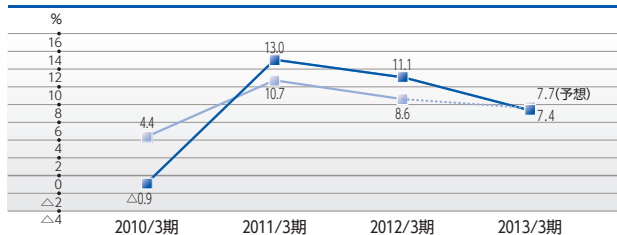


● 中間 (当期) 純利益



● 売上高営業利益率

■ 中間 ■ 通期



● ROE (自己資本利益率)

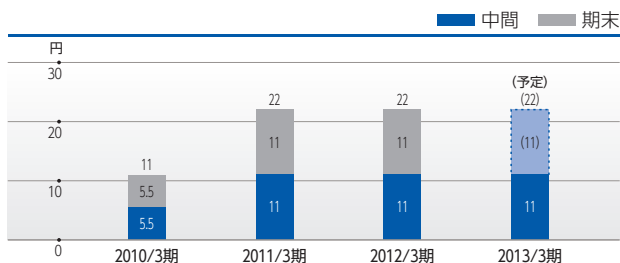


● 配当金の推移

(1株当たり)

	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
中間	5円50銭	11円	11円	11円
期末	5円50銭	11円	11円	(11円)
年間	11円	22円	22円	(22円)

()は予定



中間連結計算書類

● 中間連結貸借対照表 (2012年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	194,211	流 動 負 債	44,721
現金及び預金	18,336	買 掛 金	20,110
受取手形及び売掛金	48,803	短 期 借 入 金	1,255
有 価 証 券	50,445	リ ー ス 債 務	313
た な 卸 資 産	61,708	未 払 法 人 税 等	1,419
繰 延 税 金 資 産	7,598	繰 延 税 金 負 債	95
そ の 他	7,475	そ の 他	21,526
貸 倒 引 当 金	△156	固 定 負 債	45,308
固 定 資 産	131,099	社 債	25,000
有 形 固 定 資 産	84,490	リ ー ス 債 務	750
建物及び構築物(純額)	39,457	退 職 給 付 引 当 金	17,572
機械装置及び運搬具(純額)	23,953	負 の の れ ん	24
土 地	15,005	繰 延 税 金 負 債	363
建 設 仮 勘 定	3,949	そ の 他	1,596
そ の 他 (純 額)	2,124	負 債 合 計	90,029
無 形 固 定 資 産	3,955	純 資 産 の 部	
ソ フ ト ウ ェ ア	3,757	株 主 資 本	251,802
そ の 他	198	資 本 金	47,869
投 資 そ の 他 の 資 産	42,652	資 本 剰 余 金	54,824
投 資 有 価 証 券	37,252	利 益 剰 余 金	156,639
繰 延 税 金 資 産	3,775	自 己 株 式	△7,530
そ の 他	1,725	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	△18,053
貸 倒 引 当 金	△101	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	8,275
資 産 合 計	325,311	為 替 換 算 調 整 勘 定	△26,328
		少 数 株 主 持 分	1,532
		純 資 産 合 計	235,281
		負 債 純 資 産 合 計	325,311

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結損益計算書 (2012年4月1日から2012年9月30日まで)
(単位：百万円)

売上高	132,749
売上原価	100,918
売上総利益	31,831
販売費及び一般管理費	21,962
営業利益	9,868
営業外収益	1,634
受取利息及び配当金	903
その他の	730
営業外費用	2,166
支払利息	291
為替差損	1,329
休止固定資産減価償却費	221
その他の	323
経常利益	9,336
特別利益	71
固定資産売却益	71
特別損失	231
固定資産処分損	187
投資有価証券評価損	44
税金等調整前中間純利益	9,177
法人税、住民税及び事業税	2,458
法人税等調整額	△990
少数株主損益調整前中間純利益	7,709
少数株主利益	116
中間純利益	7,592

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (2012年4月1日から2012年9月30日まで)
(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	10,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,769
現金及び現金同等物に係る換算差額	△285
現金及び現金同等物の増減額	△3,340
現金及び現金同等物の期首残高	51,824
現金及び現金同等物の中間期末残高	48,483

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京・名古屋 (第1部)
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。ご注意願います。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

NGK | **NTK**
スパークプラグ | ニューセラミック

日本特殊陶業

<http://www.ngkntk.co.jp/>

